



キャロット通信

<http://www.wakayama-kodomo.com> (パソコンサイト)
<http://www.wakayama-kodomo.com/i/> (携帯電話サイト)



インフルエンザ接種はお済みですか??



インフルエンザは、ただの風邪とは違い、脳炎・脳症を起こし、重症な後遺症を残したり、死亡する大変怖い病気です。インフルエンザを予防する為には、日頃から、うがい・手洗い・マスクの着用を行い、栄養、睡眠を十分にとり、健康管理に気を付けましょう。しかし、これだけでは万全ではありません。インフルエンザの予防に有効なのが、「予防接種」です。予防接種には約80%の予防効果が期待できます。また、インフルエンザにかかったとしても、重症化を防ぐことができます。当院では生後3ヶ月から接種が可能です。生後6ヶ月未満は抗体獲得の割合が低くなりますが、予防効果がないわけではありません。

インフルエンザワクチンの副反応で心配なのは、アレルギーによるショックです。当院ではできるだけ安全に実施していただけるよう、アレルギーのご心配のある方には、「皮内テスト」を事前に行ったり、アレルギーの治療と平行して予防接種を実施しております。インフルエンザワクチンには「卵の成分」が入っていますが、卵アレルギーの方が皆、接種できないわけではありません。ご心配な方は、事前にご相談ください。また、喘息など持病を持っている方、ひきつけ(けいれん)を起こしたことのある方には、ぜひ受けたい予防接種です。

今、話題になっている抗インフルエンザ薬の「タミフル」ですが、1歳未満の乳幼児には適応がありません。大切なお子様の健康を守る為、ご家族皆様の接種をお勧め致します。大人の方の接種も実施しております。日曜日、夜間も実施しております。

今年は予定されていたインフルエンザワクチンが、一部検定に合格できず、その分は不足が危惧されます。また、「タミフル」「鳥インフルエンザ」騒ぎにて、今年は昨年より接種希望者が多く、ワクチンが不足する可能性が増えてきました。一昨年は「不足することはない」といわれていたにもかかわらず、突然ワクチンが入荷しなくなりました。今年もいつこのような事態に陥るかわかりません。まだインフルエンザ接種をされていない方でご希望の方は、早めの予約・接種をお勧めします。

2005年も残すところあとわずかとなりました。これがラインフルエンザも流行する時期になります。元気に新しい年を迎えられますよう、健康管理にお気を付けください。皆様にとって2006年も良い年になりますよう、心から願っております。来年もどうぞよろしくお願ひ致します。



上手な受診のしかた

1、ご自宅にて



- ★予約をする（予約専用電話にて）
- ★ご自宅で体温を計り、問診メモを記入（吸入のみの方も）しておく。（予防接種の方は予診票を記入）
- ★来院直前の飲食は控える。
- ★予約時間に遅れずに来院する。（予約時間に遅れると、キャンセルになる場合がありますのでご注意下さい。）

2、受付にて



- ★受付機に診察券を通す。（診察券忘れや紛失にご注意下さい。）
- ★受付票、問診メモ、保険証（受給者証）を受付へ（保険証は毎回確認、予防接種の方は母子手帳も）

3、診察前に

- ★順番が近づいたら、中待合室に呼ばれます。中待合室は、診察の順番が近い「名前を呼ばれた方の席」です。

★「中待合でお待ちください」とスタッフより案内がありましたら、中待合を離れずお待ちください。（離れる際は、必ずスタッフに声をおかけください）

- ★お子様の上着（ジャンパーなど）を脱がせて、ボタンやヒモをはずし、すぐ診察できるように準備を。

4、診察室にて



- ★兄弟で複数同時に診察をうけられる場合、診察室のイスに座る際に、お子様のお名前をお伝えください。
- ★聴診器をあてている時は、話が良く聞こえません。また、お子様の体を「トントン」とあやしたりすると、聴診できませんので、ご注意ください。

5、診察終了後

- ★待合室にてお待ちください。

会計スタッフが、皆様のお名前をお呼びし、会計や保険証、母子手帳等のご返却をいたします。

窓口負担のない場合でも、帰らずにお待ちいただきますようお願い致します。窓口負担のないお子様には、なるべく早くお帰り頂けるよう配慮しておりますので、よろしくお願ひします。

- ★エンゼルルームにて予防接種・健診、診察をおこなった場合はお名前を呼ばれるまで、感染予防の為ルーム内で待ちください。（お子様がテレビやプレイルームで遊ばれる場合などは、スタッフに声をおかけください。）